

白子神社ご本殿

令和の大修復

白子神社のご本殿は、創建以来二六〇年が経ち、
傷みが目立つようになりました。

ご本殿は、装飾性が優れているとして、
千葉県の有形文化財に指定されています。

文化財としての価値も高いこの建物を後世に伝えるため、
今年度（令和七年）から三ヶ年かけて

「令和の大修復」を行っております。

皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

ご由緒

白子神社は、平安時代の永承三年（一〇四八年）現在の白子町八斗に大国主命を祀ったのが始まりとされています。その後の大治元年八月十三日（一二六六年）里人が沖から、白い亀の上に白蛇がとぐろを巻いて乗ってくるのを見つけました。もし神さまならどうぞこの潮を汲む柄杓にお乗りくださいと申し上げると白蛇はゆつくりと登り始めたと言います。里人は靈感を感じ、この白蛇を祀ったそうです。白子神社が白蛇を大切にしているのはこのためです。その後、白子では悪い病氣や災害が人々を苦しめました。そこで久安三年（一二四七年）に現在の白子町関の南白亀台に移してお祀りしました。以来、九〇〇年、神社は南白亀十二ヶ村の鎮守として大切に守られてきました。

江戸時代の宝永五年（一七〇八年）には、正一位白子大明神の神号を賜りました。明治維新による神仏分離の後、「白子神社」と名前を変え、現在に至っています。



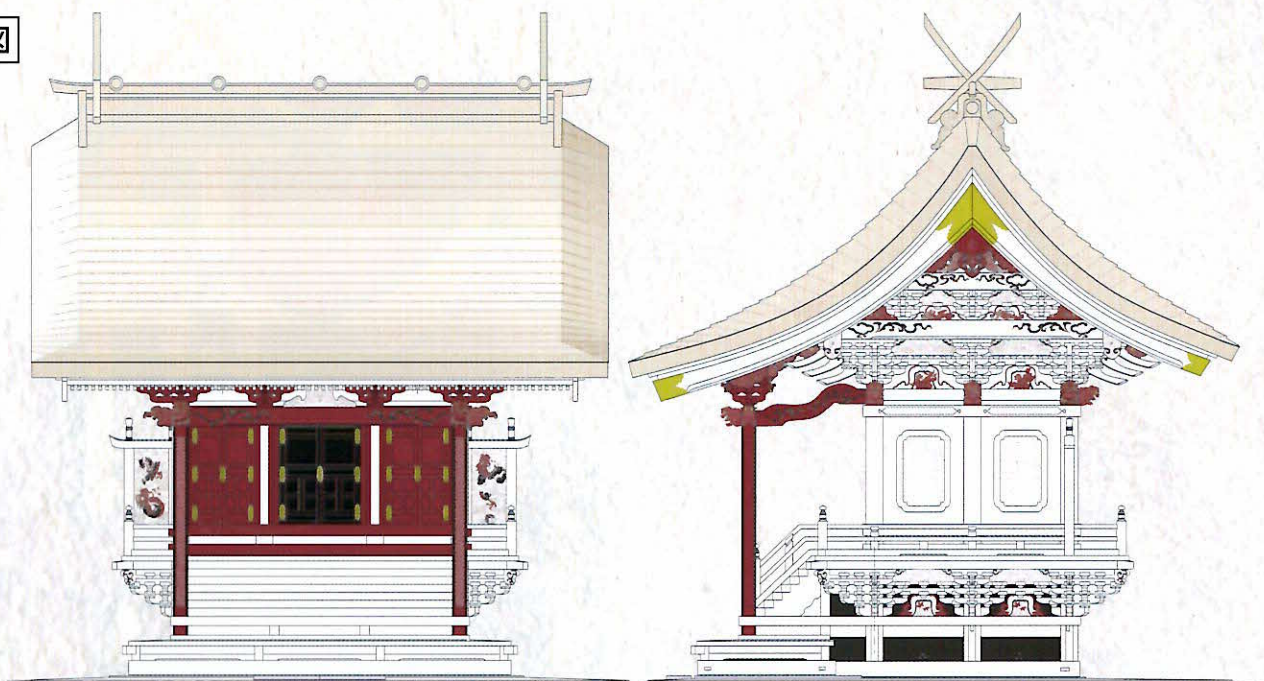
正一位 白子大明神

白子神社

〒299-4218 千葉県長生郡白子町関5364 TEL:0475-33-3124



完成予想図



工事概要及び費用

工事は、令和7年から3ヶ年かけて行います。

工事費：6,200万円 内、耐震工事として1,200万円

内訳

基礎強化工事費 (令和7年度に実施) ※礎石の下にコンクリートの基礎を新設します。	2,000万円
耐震強化工事、建物解体及び補修工事費 (令和8年度に実施)	2,200万円
建物塗装工事、飾り金物修復等工事費 (令和9年度に実施)	2,000万円

工事業者

ご本殿は、千葉県の重要文化財であることから、文化財の修復に専門的な知識や技能を持っている岩瀬建築有限会社をお願いしています。

※工事の詳細につきましては、神社に調査報告書、保存修理工事計画書を保存してありますので、内容を確認したい方は神社にいらっしゃってご覧下さい。

詳細は動画でも
ご確認いただけます



YouTube

